

平成23年  
5月号

桂台地域ケアプラザ

# 地域交流プログラム

発行日／平成23年5月1日  
編集・発行／横浜市桂台地域ケアプラザ  
発行責任者／石塚 淳

お問い合わせ先

地域交流部門 897-1111

HPアドレス

<http://www.katsuradai.com>

桂台 支えあい連絡会

検索

3月5日に本郷中央地区で行われた協働福祉フォーラムでは「つながる」をキーワードに自治会とボランティアグループのつながり、ボランティアグループ同士のつながりなど、地域の課題を解決するためにさまざまなつながりをつくっていかうと確認したところでした。その6日後にまさかの東日本大震災が起こり、被災地ではたくさんの尊い命が失われ、未曾有の被害が出る事態になってしまいました。幸い栄区では大きな被害はありませんでしたが、大規模停電により帰宅難民になってしまったり、情報が届かなくなったりと大変な混乱が起こりました。ここ数年、本郷中央地区で大きな課題になっているのが大規模災害発生時の要援護者避難支援の取り組みです。この問題の解決の糸口として普段からの見守り活動が大切だと言われています。結局は、「日頃からのお付き合い、向こう三軒両隣の近所づきあい、顔の見える関係づくりを大切にしよう」ということになりますね。

震災が発生して、はや20日余り、地域では緊急集会が行われたり、防災関係のボランティアの方たちはインターネットで震災に関する細かな情報を提供し続けたりしています。当法人でも被災地の障害者施設へのボランティア派遣や募金活動を始めています。今や「みんな自分のできることをしよう」が合言葉になっていますが、今後ケアプラザでも防災に強い街づくりに向けた「地域のつながりづくり」を支援することが大きな課題になると強く感じているところです。

## 5月の おしらせ

### 親子であそぼう！

～ベビーマッサージでふれあいタイム～

ママの手は魔法の手・・・  
スキンシップのぬくもりが親子の絆を深めます。  
お子さんのやすらかな笑みで癒しのひとときを  
お過ごしください。

日時：5月31日（火）  
10時30分～12時

募集：0～8ヶ月の  
お子さんと  
保護者10組  
（定員次第締切）

### 龍先生の健康相談

ケアプラザ協力医の龍先生による無料の健康相談を下記日程で行っています。身近な病気の相談など丁寧に対応していただきます。  
（予約優先）

協力医：龍 覚先生（上郷医院 院長）  
日時：5月13日（金）27日（金）13時30分～15時  
場所：桂台地域ケアプラザ 相談室

### 育児教室 ～新米ママあつまれ～

お母さんどうしの仲間づくりの場です。  
地区担当の保健師さんが参加し、育児相談もお受けしています。

日時：毎月第4水曜日 10時～12時  
場所：桂台地域ケアプラザ 多目的ホール  
対象：1歳までの第1子のお子さん（栄区福祉保健センター 主催）



### 男の料理教室 初心者募集！

6月より2回コースでスタートします  
～基本から美味しく作るコツを伝授～

料理に興味がある方、簡単な和食、中華に挑戦しませんか。

日時：6月25日（土）和食編  
9月24日（土）中華編  
募集：12名（2回参加可能な方）  
多数時抽選

参加費：各回1,000円（材料費）  
講師：鈴木 豊子氏  
申込み：6/1（水）～  
6/20（月）  
電話か直接ケアプラザへ





# 0 はじめに

3月11日に発生した東日本大震災で、亡くなられた方々にご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆さまやご家族さまに、心からお見舞い申し上げます。

被災地から離れたこの栄区でも、当日は大規模停電で帰宅ができなくなる方や家族と連絡が取れず不安な思いで一夜を過ごした方がいたり、震災後もその被害の大きさゆえに流通が滞ったり、初めて経験する計画停電が実施されるなど少なからず混乱が起きました。

まだ落ち着いた状態ではありませんが、ここ数年栄区では大規模災害時の要援護者避難支援をテーマとした取り組みをすべての地区で行っていた経緯もあり、3.11後に早くもさまざまな活動が芽吹いてきています。今回は、その一端をご紹介します。



## 1 公田学童、義援金募金活動

公田学童の子どもたちは、テレビや新聞の報道を見ながら「自分たちも何かできる事がしたい!」と思いました。その結果、自分たちで焼いたクッキーを誰かに買ってもらってその売り上げを募金にしよう!とみんなで話し合ったそうです。そして、3月31日!ケアプラザ館内で子どもたちが作って販売したクッキーは30分で完売し、クッキーの売上金を、東北地方と長野県栄村に寄付しました。後日、学童の指導員さんにお会いしたところ、今度は直接何かできることはないか?と考えているそうです。

私たちにもできる事が  
いっぱいあるよ



# 災害を つなが



## 2 湘南ハイツ自治会 緊急集会

震災が起こってまだ10日ほどの3月22日、湘南ハイツ自治会では38名の方が集まって緊急に「大地震災害時自らを守る体験住民集会」を開催。災害時は行政や自治会にだけお任せはできない!その時自分たちはなにができるのか?常日頃から何を心掛ければ良いのか?といったテーマで、一人ひとりの振り返りを行ったそうです。会社にいた方、電車で移動中だった方、学校にいた方、自治会館にいた方、さまざまな場面で体験して感じたことを話し合い共有しあったそうです。湘南ハイツ自治会の亀澤弘氏は、「今回の地震で感じた各々の体験を共有し、地域のつながりを一人ひとりが意識して、災害時に助け合える関係を紡いでいくことが重要である」とお話されていました。



## 3

## 上郷西地区支えあいネットワーク ハンドブック防災版 配布

上郷西地区では、支えあいネットワークのメンバーが災害に関する日頃の備えや災害時の避難場所の情報などが掲載されたハンドブックを作成し、各自治会を通して全戸への配布を行ったばかりでした。地震発生時にそのハンドブックを開いて心強かったという声も上がったそうです。このハンドブックは、支えあいネットワークホームページからもダウンロードできます。(http://www.katuradai.com/)



## 4

## 栄・防災ボランティア ネットワークの活動

これは震災前のお話ですが、2月19日には栄・防災ボランティアネットワークの主催で防災ボランティアセンター開設訓練・情報訓練が行われました。今回で4度目の訓練ですが、実際に災害が起きた場合を想定して、福祉避難所のニーズとボランティア希望者のニーズをマッチングする為の情報伝達訓練を主に行ったそうです。3月11日には実際に携帯電話が使用できないなどの混乱が起きましたが、発電機などの非常電源設備があるアマチュア無線は実際に活用できる事がわかったそうです。また、栄・防災ボランティアセンターが開設しているホームページ (http://sakaebousai.blog92.fc2.com/) には震災後に役立つ情報が満載なので、ぜひご覧ください。

越え、  
りあう  
地域へ

防災ボランティア  
ネットワーク



### ～つながり合う地域へ～

以上、3.11後の防災に関する活動の一部を紹介させていただきました。今回の震災に関する報道や、栄区での活動を伺う中で感じたことは「地域のつながり」の大切さです。災害が発生した際は、何より隣近所の助け合いが大切となります。それには、普段からの見守りや声かけなどのコミュニケーションを行うこと、みんなで「地域のつながり」の大切さを意識する事が災害時に生きるのだと思います。

今年度は、桂台地域ケアプラザでもさまざまな世代の方に向けて防災をテーマにした研修やイベントを予定しています。ひとりでも、ひとつでも多くのつながりづくりを目指して活動しますので、ぜひ近隣の方とお誘いあわせのうえご参加いただければと思います。



平成23年

# 桂台地域ケアプラザ 各部門 今年度の抱負!!

## ・地域交流 地域交流のテーマは “相互理解”

今年度は、他部門や地域の皆さんと連携をとりながら、楽しくためになる講座やイベントを企画していきたいと思います。

忘れることのできない3.11体験から「防災」への意識をさらに高める講座……情報や夢を運ぶパソコンの入門講座……お子さんからシニアまでが気軽に参加できる交流イベント……など。

職員は、柴田（お孫さんと歌をこよなく愛するフェミニスト）、高橋（お世話大好き主婦の鏡）、佐川（駆け込み出勤で体力づくり）が担当します。

“3人寄れば文殊の知恵”を座右の銘に、お互いのコミュニケーションを大切にしながら取り組んでまいります。どうぞ温かいご支援ご協力をお願いいたします。



## ・デイサービス デイサービスの テーマは “地域とのつながり”

デイサービスは、大きな浴槽での入浴や時には松花堂弁当なども出るお食事はもちろん、音楽・体操・手芸・書道・絵手紙・生け花・百人一首そして麻雀・将棋などの様々なプログラムを地域のボランティアさんと協力しながら展開しています。さらに、ウクレレ・社交ダンス・和太鼓・舞踊・「どじょうすくい」などの伝統芸能まで、横浜市内外で活躍中のグループによる特別プログラムも魅力の一つです。

また、桂台小学校や桂台保育園のこどもたちとの交流も欠かせない世代を超えた「つながり」となっています。元気があふれるデイサービスを目指してスタッフ一同努力しています。見学・体験利用はいつでも受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。



## ・居宅介護支援 居宅介護支援の テーマは “チーム力”

地域の高齢者が自立した日常生活を安心して送れるように支援していきます。担当が不在時でも、相談が出来るよう日々の連絡や相談を密にして、チームで地域の利用者、家族の相談に対応できるように努めています。民生委員さんやボランティアグループの方と共に研修会や勉強会を行い、顔の見える関係作りをしています。

今後もケアマネジャー業務や介護保険について、積極的に地域に伝える機会を作っていきます！



## ・地域包括支援センター 地域包括 支援センターのテーマは “地域発信”



4人の職員で協力して、ほぼ年中無休で介護や福祉サービスのご相談をお受けしています。ケアプラザまで出向くことが難しい方には、訪問いたしますので、お気軽に声をかけてください。また、認知症や介護予防について、より多くの方に知っていただけるよう、ボランティアさんや福祉役員の方たちとイベントや研修会を開催する予定です。